

韓国及びIBK(韓国中小企業銀行)における中小企業金融

発表者 Byung Sun Cho博士

IBK経済研究所 所長

2008年1月18日





目次

- I. 中小企業の役割
 - II. 中小企業金融：特徴と問題
 - III. 韓国における中小企業金融政策
 - IV. IBK：韓国中小企業金融界のリーダー
- 附録



I. 中小企業の役割

森林



経済



大企業と中小企業間の協力が不可欠

- 大企業: 国家経済の発展を先導
- 中小企業: 経済成長の原動力を維持・支持
- 結果: 大企業と中小企業の相互協力を通じた経済競争の強化



バランスが取れ持続可能な経済成長を増強

中小企業は

- ・生産、雇用、輸出などの分野で重要な役割を果たす
- ・新たな仕事を創出する
- ・事業間の競争を刺激する
- ・パーツやコンポーネントの供給者として機能する
- ・地域間でバランスの取れた成長を促進する
- ・新規市場を創出し、多様なニーズに対応する
- ・技術を開発し、新たな事業を創出する

米国(中小企業法の序文)

- 市場での自由競争を促進する
- 創造的で自発的な精神のための機会を提供する
- 経済の基礎であり国家安全保障の基盤である

中小企業は

日本(中小企業法)

- 活発な経済の原動力である
- 自己実現を目指す人々へ仕事を提供する

韓国(中小企業憲章)

- 自主管理、自由、革新、活力の源泉である
- 国家経済の発展に貢献し、市場経済を先導する

II. 中小企業金融：特徴と問題

高い信用
リスク

- 景気の循環に影響されやすい
- 技術レベルが低いため、競争力がない
- 担保に乏しい

低い収益性

- 取引当たりの収益が少ない
- 高額な管理費用が必要
- 追加的な銀行取引の機会の提供が限定的

情報の非対称

- 会計の透明性に乏しい
- 構造化されていないコーポレート・ガバナンス
- 経営方針や企業情報が分かりにくい

1. 利率、担保、満期など融資条件面での様々な不利点

2. 金融の不安定性に対し脆弱である

- 好況時：金融機関による積極的な貸付拡大
- 不況時：リスク管理面で、大企業に比べ慎重な貸付審査及び貸付の早期回収

- 財務実績に優れている、あるいは信用プロフィールが強い中小企業
 - 有利な条件で資金調達しやすい
 - ほとんどの銀行で目標とされる顧客群に属する
- 財務実績が芳しくない、あるいは信用プロフィールが弱い中小企業（零細企業、新興企業など）
 - 銀行貸付の利用が困難であり、結果、財政難に陥る



III. 韓国における中小企業金融政策



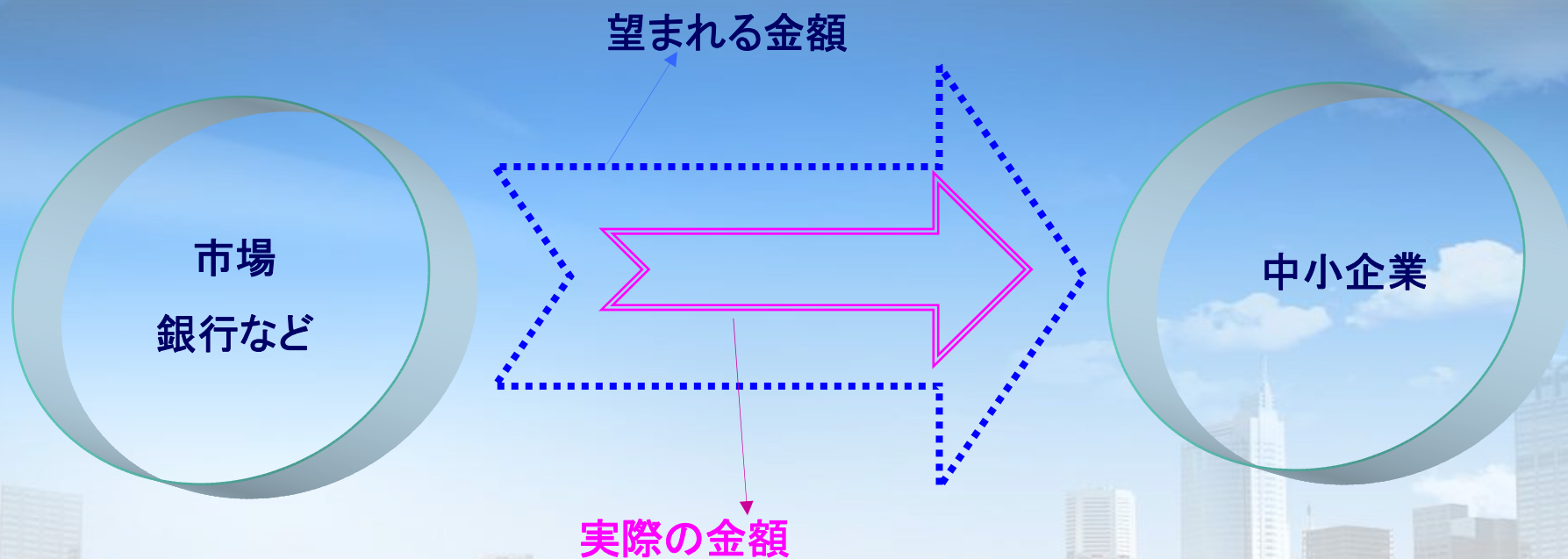
中小企業金融政策

財政支援へのアクセス向上により、中小企業が金融面で直面する不利の解消・相殺に役立つ

市場の失敗に対するセーフガードの役割を果たし、故にほとんどの国が何らかの形で中小企業金融政策を施行している

政府が中小企業金融を支援すべき理由

市場が中小企業部門へ資金拠出するレベルは、望まれるレベルよりはるかに低い



アベイラビリティの拡大

中小企業向けに利用可能な資金供給の拡大を狙いとする政策

アクセシビリティの強化

弱い信用プロフィールや担保を補完することにより、金融機関に対する中小企業のアクセシビリティを提供する政策



1. 中小企業専門の政策銀行の設立

■ 概念及び趣旨

- ・ 市中銀行からの資金供給不足を補完
- ・ 政府主導の中小企業振興部門への友好的な資金供給を推進
- ・ リスクは高くても国家経済成長へ大いに貢献する部門へ資金を供給すること（長期資本支出、ベンチャーキャピタル、研究開発基金）

■ 施行

- ・ 初期段階: 中小企業支援を目的とする韓国中小企業銀行(1961年)、零細企業支援を目的とする国民銀行(1963年)、各地方の中小企業向けの地方銀行(1970年代)を設立
- ・ 現在: IBKは唯一の中小企業専門の政策銀行である。他の銀行は合併又は民営化されている
- ・ 中小企業金融に特化するだけでなく、IBKは韓国の銀行業界で競争力を持つプレーヤーへと進化した

2. 推奨中小企業貸付比率

■ 概念及び趣旨

- ・ 韓国銀行(BOK、即ち中央銀行)は各銀行に対し、貸付ポートフォリオに対する一定の中小企業貸付比率を維持するよう勧告
- ・ 1965年、中小企業貸付を促進するためBOKにより導入

■ 施行

- ・ 現在: 市中銀行45%、地方銀行60%、海外銀行の支店35%が、BOKの推奨ガイドラインである
- ・ BOKは準拠銀行にインセンティブ*を提供することにより、推奨水準を促進する

* BOKは準拠銀行へ特別低金利貸付を提供

IBK: IBK法に従い中小企業向け貸付の80%以上を提供

→ 2006年7月には70%へ減少

3. BOKによる金融機関向け中小企業振興基金

- BOKは市場金利より低金利で金融機関への基金を提供
 - これにより金融機関は積極的に中小企業貸付を行い、市場金利を下げるレバレッジとして機能する
 - ・BOK基金は以下のように提供される
 - 銀行毎(C1基金): 中小企業貸付実績に応じて配分
 - 地域毎(C2基金): 中小企業貸付実績や地域経済環境に応じて、BOKの地域本部へ配分
- * 現在、BOKによる中小企業振興基金は、市中銀行の貸出利率よりはるかに低い年利3.25%にて約6兆5,000億ウォンが拠出されている

4-1. 中小企業基金の創設及び促進

■ 概念及び趣旨

- ・中小企業関連政策の施行に合わせて中小企業を振興する特定目的の基金

■ 施行

- ・初期段階: 中小企業振興基金(1979年)

- ・現在: 様々な基金を、中小企業振興公社(包括的な中小企業支援措置を実施する政府機関)が管理する単一の基金へ統合

(基金の規模は2006年に3兆2,000億ウォンに達した)

4-2. 様々な政策基金

■ 概念及び趣旨

- ・ 中央政府又は地域政府の政策に対応する支援を提供する特別政策基金（2006年には174の事業において総額7兆2,000億ウォンにのぼり、主に研究開発費用、IT企業、ベンチャー融資、地域経済発展などの振興を目的とした）

■ 施行

- ・ 特別政策基金により、貸出を審査・実行する銀行に対し中小企業を推奨
- ・ 他の銀行貸付より低い利率、長い満期期間



1. 信用保証制度

■ 概念及び趣旨

- ・ 信用保証機関が、信用プロフィールの弱い中小企業の債務返済を保証し、債務不履行が生じた場合、保証機関が代わりに銀行へ負債を返済する

- ・ 施行:信用保証機関

- ▶韓国信用保証基金(KCGF):

一般的な中小企業が対象

- ▶韓国技術信用保証基金(KOTEC):

革新企業やハイテク企業が対象

- ▶地域信用保証財団(14団体):

地方自治体により設立され、管轄区域内の専門産業、小企業、SOHOの振興を目的とする

2. 輸出保証制度

■ 概念及び趣旨

- ・ 輸出者と貸出銀行を、従来の保険制度ではカバーされない商業的・政治的リスクから保護する
 - 商業的リスク: 契約違反、破産、支払拒否など、輸入者に起因するリスクを含む
 - 政治的リスク: 戦争、クーデター、制裁措置などのリスクを含む
- ・ 金融リスクを相殺することにより、海外輸出を促進する
- ・ リスクを最小限に抑えるため、海外の輸入者の信用審査を実施する

■ 施行

- ・ 韓国輸出保険公社(1992年)

■ 必要性

- ・ 中小企業は資本市場において大きな金融上の不利に直面する
 - 相対的に規模が小さく、信用プロフィールが弱い
 - ファミリー指向の経営構造を背景に、第三者による株式投資から除外される
 - ・ 金融ニーズの増大や複雑な市場構造を背景に、間接金融は限界に達した
 - 債券発行或いは株式投資など、より長期的な資金調達が求められる
- ⇒ 資本化を通じ、中小企業の堅実な成長を確保

■ 施行

- ・ 中小企業投資会社、専門金融機関：中小企業のエキスパート
- ・ ベンチャーキャピタル、資本投資会社：研究開発や新興企業を支援
- ・ KOSDAQなど、別な市場を展開

韓国地域金融機関は1997年以来、IMF金融危機の状況下で低迷してきた

- 地域金融機関の数は2006年の時点で4,326、その後年間4.5%減少した

地域金融機関の動向

	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06
合計	6,721	6,580	6,254	5,544	5,023	4,843	4,761	4,553	4,510	4,441	4,326
ソウル	855	827	770	714	627	577	564	560	562	563	571
地方	5,770	5,656	5,386	4,731	4,396	4,266	4,197	3,993	3,948	3,878	3,755

出典: BOK

- 地域金融機関の貸付シェアは徐々に減少し、この傾向は1997年のIMF金融危機以降、さらに加速した

貸付シェア

		'90	'92	'94	'96	'98	'00	'02
貸付額 (%)	全国	68.5	69.9	69.8	71.7	72.1	76.1	77.3
	地域	31.5	30.1	30.2	28.3	27.9	23.9	22.7

出典: BOK

しかし最近では、地域金融が徐々に回復しつつある

- 全国的金融機関と比較した地域金融機関の貸付シェアは、IMF金融危機による減少の後、2003年から増大している

地域金融機関における貸付の規模及びシェアの傾向

	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07.10
貸付額(兆)	111	125	111	111	114	124	142	167	188	210	234	260
比率(%) (全国的金融機関との比較)	40	41	32	27	23	23	23	25	28	29	30	33

出典: BOK

- ソウルと比較した地方の貸付シェアはIMF金融危機により2001年まで減少傾向にあったが、2002年から増加傾向に転じた

金融機関における貸付の規模及びシェアの傾向

	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07.10
貸付額(兆)	165	189	200	223	265	295	338	372	390	417	448	463
比率(%) (ソウルとの比較)	61	63	59	55	54	54	55	56	57	58	58	59

出典: BOK

全国的金融機関による地方貸付拡大や地域金融機関による良好な活動が、地域金融の回復に貢献

□ 特に、全国的金融機関による地方貸付拡大が、地域金融の回復に最も貢献した

- ・全国的金融機関による地方貸付の残高(247兆ウォン)は、ソウルでの貸付額(288兆ウォン)より小さいが、年間成長率は2000年以後、地域(5.8%)がソウル(4.8%)より大きく、このことが地域金融の回復につながった

- ・地方貸付のシェアは増大している

全国的金融機関における貸付の規模及びシェアの傾向

		'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07.10
貸付残高(兆)	ソウル	88	96	125	168	208	233	257	275	267	274	293	288
	地方	72	82	105	129	166	188	216	229	229	240	251	247
比率(%)	ソウル	55.0	54.0	54.4	56.5	55.6	55.3	54.4	54.5	53.9	53.3	53.9	53.9
	地方	45.0	46.0	45.6	43.5	44.4	44.7	45.6	45.5	46.1	46.7	46.1	46.1

出典: BOK

□ 既に述べたように、地方信用保証財団など地方金融機関による貸付の拡大が、地域金融の回復に一役買う

- ・政府は地方信用保証財団への保証支援を拡大する意向である

IV. IBK: 中小企業金融界のリーダー



韓国中小企業銀行 (IBK)

- ・1961年、韓国中小企業銀行法の下で政策銀行として設立
- ・韓国で唯一の、政府所有の中小企業専門銀行
- ・経営コンサルティングから財政支援に至るまで、包括的なサービスを提供
- ・IBKの綱領はIBK法の中で次のように概説されている:

「十分な信用と金融システムを中小企業へ提供することにより、中小企業の独立的経済活動を促進すること、並びに国家経済における中小企業の経済的存在感を高めること」

□ 1961年以来、IBKは確固たる財政支援を中小企業へ提供し、40年以上にわたり韓国経済の発展に積極的な役割を果たしてきた。

1. 中小企業金融市場の量的拡大へ貢献

- 中小企業貸付規模: 65兆ウォン、バンキング市場全体の18.6%のシェア(2007年10月時点)

2. 中小企業金融市場の質的進歩を先導

- 中小企業特有の商品、システム、信用格付けモデルを開発
- 国家経済成長へ貢献する高収益・高リスク部門へ財源をシフト
 - 設備向け長期貸付、技術開発貸付、革新的中小企業
- リスクを嫌う市中銀行の貸付プロファイルから除外される、信用の弱い中小企業を探し出し、支援する
 - 小企業、SOHO、新興企業

3. 金融業者として、景気の循環をコントロール

(1) IMF金融危機の状況下

□ 中小企業に対する貸し渋りを緩和すると共に大量倒産を撃退すべく、政策銀行として積極的な戦略を導入

・1997年、中小企業は金融危機を背景に経営難に直面した

– IBKは危機を乗り越えるべく中小企業金融を積極的に支持

– 他の市中銀行は自らのBIS比率を維持しようと中小企業貸付を削減

・IMFの監督下での法外な利率引き上げ

– IBKは貸出利率の低減に主導的役割を果たし、その結果、中小企業が負っていた極端な財政負担を緩和した

(2) 2004年 ~ 2005年: 事業縮小周期

□ 中小企業の財政難を緩和するため、積極的に信用を提供

– 2004年にはバンキング産業における中小企業貸付全体の純増分のうち4兆3,600億ウォン(74%)、2005年には純増分のうち6兆5,800億ウォン(55.5%)を占めた。

4. IBKは韓国政府からの直接的な財政支援抜きに、独自の主導権・能力に基づいて行動する

□ 資金は他の市中銀行との競争を基礎として市場から調達

・資金拠出総額に占める政策基金及び機構基金の割合: 10.3 % (2005年末時点)







総資産額 123兆ウォン(国内5位、世界103位の銀行)

国内556支店、海外10支店、従業員9,218名

信用状況:Aa3(ムーディーズ)、A+(フィッチ)のソブリン格付け

中小企業貸付市場シェア:18.6%(市場第1位)

最も信頼できる銀行として中小企業から指名

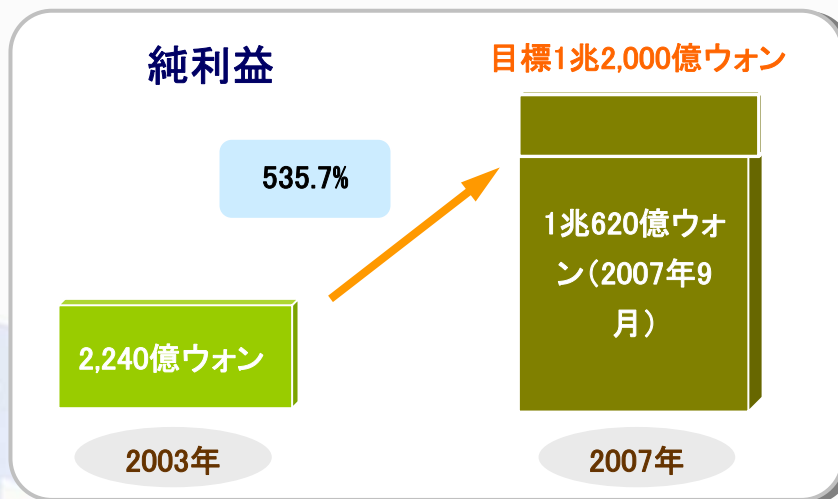
株主:政府51%、政府所有銀行15.7%、少数株主33.3%

内部成長により100兆ウォンを超える資産規模を初めて達成した銀行である

2006年目標:1, 10, 100

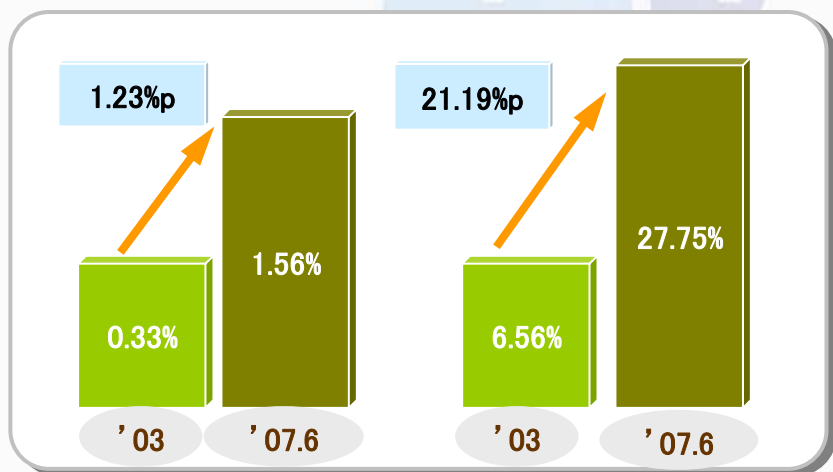
5年後

50周年:2, 20, 200

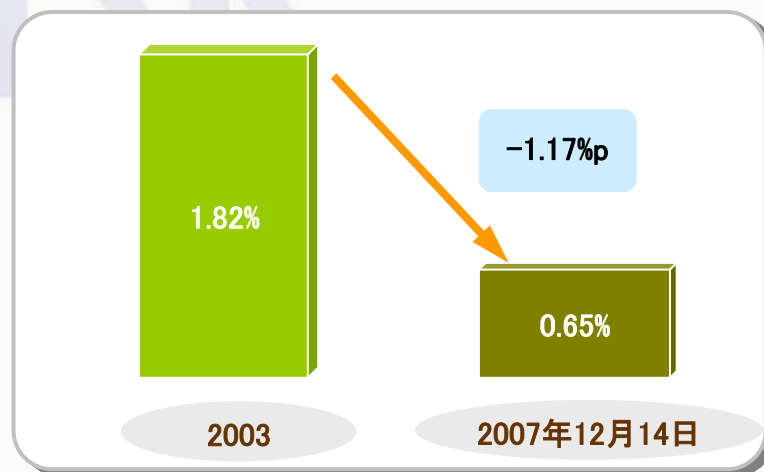


ROA(資産収益率)

ROE(株主資本利益率)



滞納率



A large, semi-transparent world map in a light beige color is centered in the upper half of the page. The map shows the outlines of continents and countries.

附錄



1. 韓国における中小企業の定義

事業の種類	常勤者数	上限
製造	300名未満	資本:80億ウォン (800万ドル)
鉱業、建設、輸送	300名未満	資本:30億ウォン (300万ドル)
漁業	200名未満	年間売上高:200億ウォン (2,000万ドル)
問屋業	100名未満	年間売上高:100億ウォン (1,000万ドル)
その他	50名未満	年間売上高:50億ウォン (500万ドル)

2. 経済に対する中小企業の貢献

韓国の製造業界における中小企業の重要性

(%、米ドル)

	1970	1980	1990	2000	2003	2005
企業数	97.1	96.6	98.3	99.3	99.4	99.4
雇用	49.0	49.6	61.7	74.0	76.9	76.2
生産	30.3	31.9	42.7	47.4	50.6	49.5
付加価値	28.5	35.2	44.3	50.2	52.8	51.5

中小企業は総雇用の77%、総生産の50%を占め、韓国経済において重要な役割を果たしている。

ありがとうございました

